調査レポート０４／９２
２００４年１２月２４日

米国・欧州主要国の景気概況
＜２００４年12月号＞

【目次】

Ⅰ．米国経済
　景気は底堅さを維持　… ｐ.1
　…
Ⅱ．欧州経済
　１．ユーロ圏：外需に変調の兆し　… ｐ.4
　２．英国：景気に減速の兆し　… ｐ.7

UFJ総合研究所

【お問い合わせ先】調査部(東京) 海外経済班
(米国経済)　高山　E-Mail：shin.takayama@ufji.co.jp
(欧州経済)　野田　E-Mail：ndmariko@ufji.co.jp

Ⅰ．米国経済

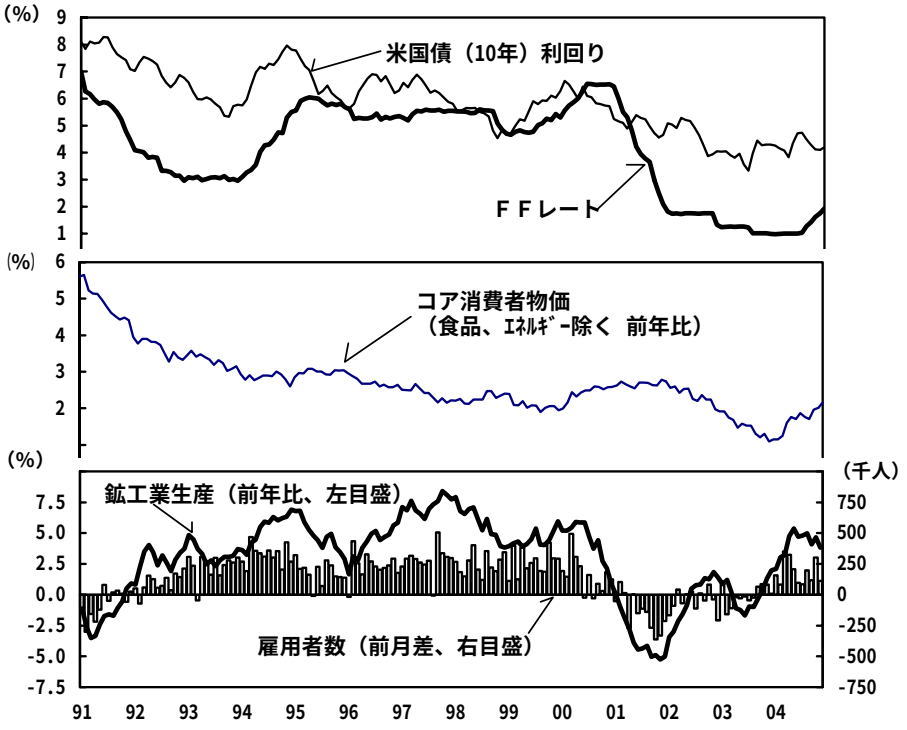
【景気概況】

・景気の拡大テンポに減速傾向がみられるが、底堅さは維持している。7-9月期の実質ＧＤＰ成長率（確報値）は前期比年率4.0%と、4-6月期（同3.3%）を上回る伸びとなった。また、コンファレンスボードの景気先行指数は6月以降低下が続いていたが、11月は前月比0.2%上昇し、6ヵ月ぶりにプラスに転じた。

・個人消費も底堅く推移している。11月の実質個人消費はほぼ横ばい（前月比0.03%増）にとどまったものの、マインド面では改善の動きがみられる。12月のミシガン大消費者信頼感指数は97.1ﾎﾟｲﾝﾄとなり、2ヵ月連続で上昇した。また、クリスマス商戦は低調が伝えられているが、自動車については12月上旬から始まった販促インセンティブ拡大を受けて販売増加が期待される。足元の個人消費も全体としては底堅さを維持しているとみられる。

・設備投資は高水準で推移している。11月のコア資本財出荷は前月比1.7%減少したが、同受注は前月比1.8%増加した。機械設備投資の先行指標である設備稼働率をみると、11月は78.7%と、2001年1月以来の水準まで上昇した。2003年以降、設備投資を押し上げてきたＩＴ関連投資は更新投資一巡により鈍化しているが、今後は機械設備投資の増加が設備投資全体を牽引することが期待される。

・12月14日のＦＯＭＣ（米連邦公開市場委員会）では、ＦＦレートを0.25%引き上げ2.25%とすることが決定された。声明文では、生産と雇用の改善が指摘され、引き続き慎重なペースで金融緩和の解除が進むことが示唆された。



【米国経済指標】

景気		経済指標	2002	2003	04/1Q	04/2Q	04/3Q	04/7	04/8	04/9	04/10	04/11
	全般	実質ＧＤＰ(前期比年率)	1.9	3.0	4.5	3.3	4.0	-	-	-	-	-
		ＩＳＭ指数	52.4	53.3	62.5	62.1	59.8	62.0	59.0	58.5	56.8	57.8
		景気先行指数(CI)	2.2	1.3	0.9	0.9	-0.4	-0.3	-0.3	-0.2	-0.4	0.2
		企業収益（税引前）	6.9	15.0	-0.4	2.7	-5.6	-	-	-	-	-
需要サイド	個人消費	消費者信頼感指数（1985=100）	96.6	79.8	91.6	96.3	100.4	105.7	98.7	96.7	92.9	90.5
		小売売上高	2.5	5.4	2.5	1.6	1.4	1.0	-0.3	1.6	0.8	0.1
		同　（乗用車を除く）	3.2	5.2	2.9	1.9	1.3	0.4	0.3	0.8	1.1	0.5
		自動車販売台数（年率､100万台)	16.7	16.6	16.5	16.5	17.1	17.2	16.6	17.5	16.9	16.3
		名目可処分所得	4.6	4.2	1.4	1.5	0.8	0.2	0.4	0.2	0.6	0.3
		個人貯蓄率	2.0	1.4	1.0	1.3	0.5	0.5	0.7	0.3	0.1	0.3
	設備投資	ｺｱ資本財出荷	-6.3	2.2	2.9	2.2	3.5	2.3	0.9	-0.3	2.0	-1.7
		同　（前年比）			11.3	12.3	12.1	11.1	14.6	10.7	12.1	10.9
		ｺｱ資本財受注	-7.1	6.6	3.7	1.9	3.3	0.6	0.7	5.4	-4.1	1.8
		情報機器出荷	-9.5	4.8	0.9	1.0	2.9	3.1	2.2	-2.1	3.1	
	住宅投資	新設住宅着工戸数（年率､万戸）	171.1	184.8	194.3	192.0	196.9	198.5	201.8	190.5	203.9	177.1
		同　（前年比）	6.9	8.0	11.2	10.0	4.6	4.9	10.0	-0.9	2.8	-13.8
		着工許可	6.9	4.7	-1.9	4.3	-0.2	6.2	-4.7	1.5	1.0	-1.5
	輸出	ｾﾝｻｽﾍﾞｰｽ名目	-4.9	4.6	4.0	2.6	2.5	3.8	0.9	1.9	0.2	
		ｾﾝｻｽﾍﾞｰｽ実質	-4.7	2.2	2.4	5.7	2.2	3.4	1.1	1.7	-0.6	
		ＩＳＭ輸出向け受注指数	52.1	54.9	58.1	59.4	54.1	56.2	54.2	51.8	56.6	54.7
供給サイド	生産	鉱工業生産	-0.3	0.0	1.4	1.1	0.7	0.7	0.1	-0.1	0.7	0.2
		同　（前年比）			2.8	4.9	4.6	4.8	5.0	4.1	4.6	3.8
		設備稼働率(%)	75.3	75.5	77.3	77.9	78.2	78.3	78.3	78.1	78.6	78.7
		企業在庫率	1.40	1.37	1.32	1.31	1.32	1.32	1.32	1.31	1.30	
	雇用	失業率(%)	5.8	6.0	5.6	5.6	5.4	5.5	5.4	5.4	5.5	5.4
		雇用者増(非農業)(千人)	-47	-25	198	253	295	85	198	119	303	112
		同　（製造業）(千人)	-67	-61	7	17	25	5	14	-5	-2	-5
	輸入	ｾﾝｻｽﾍﾞｰｽ名目	1.8	8.2	5.6	5.3	2.3	-1.3	2.3	-0.7	3.9	
		ｾﾝｻｽﾍﾞｰｽ実質	3.7	5.2	3.2	3.3	1.0	-1.3	1.0	-1.0	2.8	
		同　（前年比）			9.4	12.7	12.3	11.2	15.1	10.5	11.3	
国際収支		経常収支(10億ﾄﾞﾙ)	-473.9	-530.7	-147.2	-164.4	-164.7	-	-	-	-	-
		貿易収支(10億ﾄﾞﾙ)	-468.3	-532.4	-146.9	-159.9	-163.3	-53.7	-55.9	-53.7	-58.4	
物価		生産者物価（最終財）	-1.3	3.2	1.0	1.5	0.1	0.0	0.1	0.1	1.7	0.5
		消費者物価（コア）	2.3	1.5	0.4	0.7	0.4	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
		同　（前年比）			1.3	1.8	1.8	1.8	1.7	2.0	2.0	2.2
		雇用コスト（民間･末値）	3.4	4.0	1.1	1.0	0.9	-	-	-	-	-
		時間給	2.9	2.7	0.5	0.7	0.8	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1
		同　（前年比）			1.8	2.1	2.2	2.0	2.3	2.4	2.5	2.4
		ＩＳＭ仕入価格指数	57.4	59.6	81.0	85.0	78.2	77.0	81.5	76.0	78.5	74.0
金融		Ｍ２（前期比年率）	7.6	6.9	3.6	10.1	2.7	-1.0	2.1	6.1	2.6	6.4
		ＦＦレート（実効ﾚｰﾄ、%）	1.67	1.13	1.00	1.01	1.44	1.27	1.43	1.62	1.75	1.93
		10年物国債利回り(末値、%)	3.83	4.25	3.86	4.62	4.14	4.50	4.13	4.14	4.05	4.36
		ＮＹﾀﾞｳ指数（末値）	8,342	10,454	10,358	10,435	10,080	10,140	10,174	10,080	10,027	10,428
市場ﾃﾞｰﾀ		ドル実効レート(Broad, 97.1=100)	126.75	119.30	113.30	116.04	115.05	115.08	115.26	114.81	113.15	110.19
		同　（前年比）	0.7	-5.9	-8.2	-2.6	-3.3	-2.9	-3.9	-3.2	-2.6	-5.1
		JOCインデックス	79.58	92.01	111.11	112.65	115.06	111.58	117.04	116.57	113.60	112.72

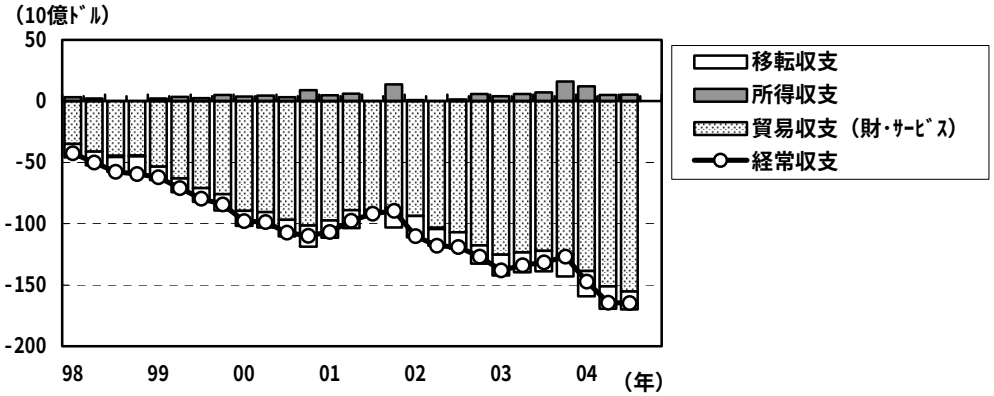
(注1) 原則として数字は季節調整済前期比(%)。
(注2) 雇用者増減数の年計数および四半期計数は月平均ベースに換算。
(注3) 10年債利回りはｺﾝｽﾀﾝﾄ･ﾏﾁｭﾘﾃｨｰ･ﾍﾞｰｽ(FRB)
(注4) 米商務省、米労働省、ＦＲＢ、コンファレンス･ボード資料などより作成。

【指標解説】

○2004 年 7-9 月期の経常赤字は過去最大の 1647 億ドル

・7-9 月期の経常赤字は 1647.1 億ドルと、3 四半期連続で過去最大を更新した。主要因は貿易赤字の増加（前期比 42.6 億ドル増）にある。原油価格上昇により石油関連製品の貿易赤字が 36.4 億ドル拡大したことや、アテネオリンピックの放送権料支払い（7.9 億ドル）によるサービス収支の黒字幅縮小が貿易赤字の拡大につながった。なお、すでに公表されている 10 月の貿易赤字は 554.6 億ドルと、7-9 月期の月当たり平均（517.8 億ドル）を大きく上回っており、経常赤字は 10-12 月期も拡大する可能性が高い。

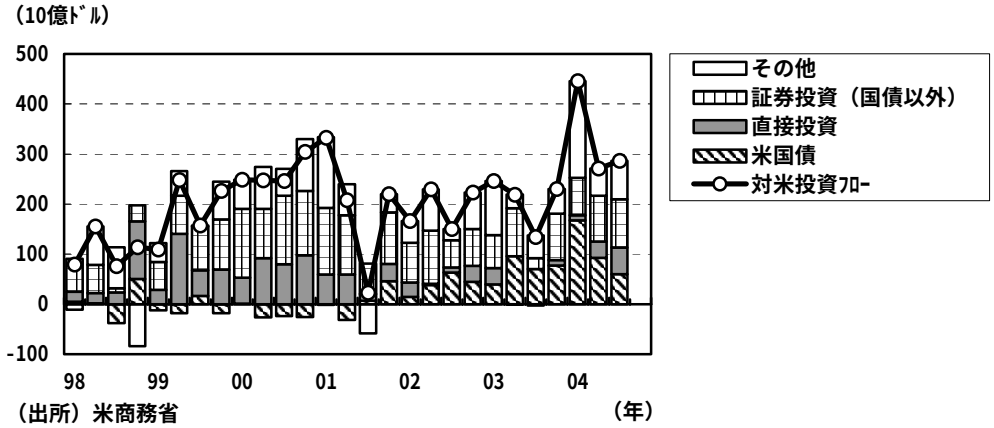
図表 1 経常収支



（出所）米商務省

・資本収支については、海外資金の米国への流入（ネットベース）が 2864.1 億ドルとなり、前期比 156.7 億ドル増加した。米国債投資は 2 四半期連続の減少となったが、その他証券投資（政府機関債、社債、株式等）や直接投資が増加し、米国への資金流入は拡大した。また、10 月の対米証券投資は 632.5 億ドルと、7-9 月期の月当たりの平均（634.8 億ドル）並みの水準を維持しており、米国への資金流入は依然として底固く推移している。

図表 2 資本収支



（出所）米商務省

Ⅱ．欧州経済

１．ユーロ圏

・ユーロ圏の景気回復をけん引してきた外需に変調の兆しが見えてきた。2004 年 7～9 月期の実質ＧＤＰ成長率（一次値）は前期比 0.3%（速報値と同じ）、前年同期比 1.8%（速報値より 0.1%pt 下方修正）といずれも前期より減速した。輸出の成長率（前期比）寄与度が 4～6 月期の 1.2%から 0.5%に大幅に低下したことから外需の寄与度が前期の 0.2%から 7～9 月期にはマイナス 0.7%と成長率押し下げ要因に転じた。しかし、その一方で個人消費、固定資本投資など内需は底堅く推移しており、成長テンポの減速は緩やかなものにとどまっている。ＥＵ委員会の四半期報告も 7～9 月期の成長率の低下は 2004 年上期が予想以上に好調であったためと指摘。今年そして来年とも 2%程度の成長率が続くとの景気回復シナリオに変更はないと述べている。

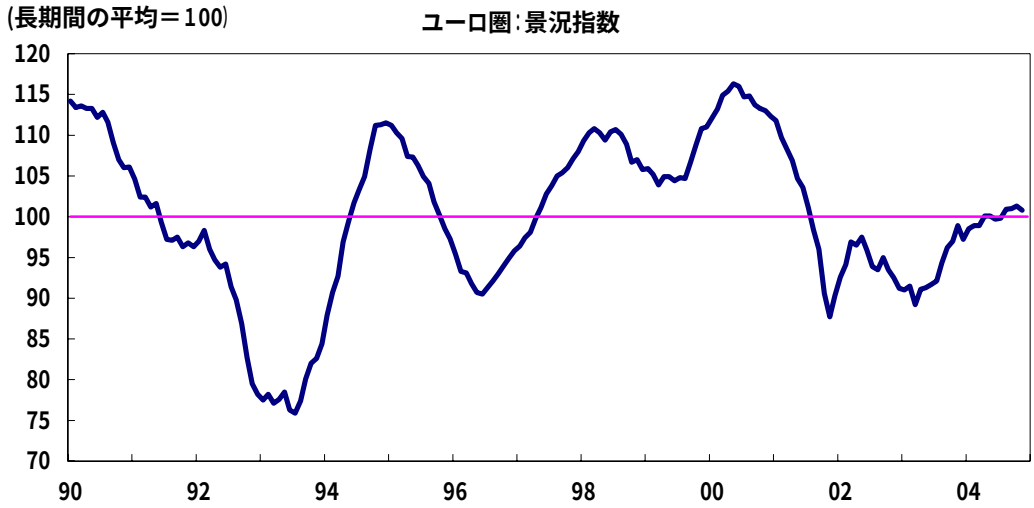
・11 月の消費者物価上昇率は原油価格の下落から前年同月比 2.3%と前月比 0.1%pt 低下したが、依然としてＥＣＢの政策目標（2%近く）を上回るインフレ率が続いている。ただし、景気回復の足取りは重く、ＥＣＢは当面、政策金利（2.00%）を据置こう。

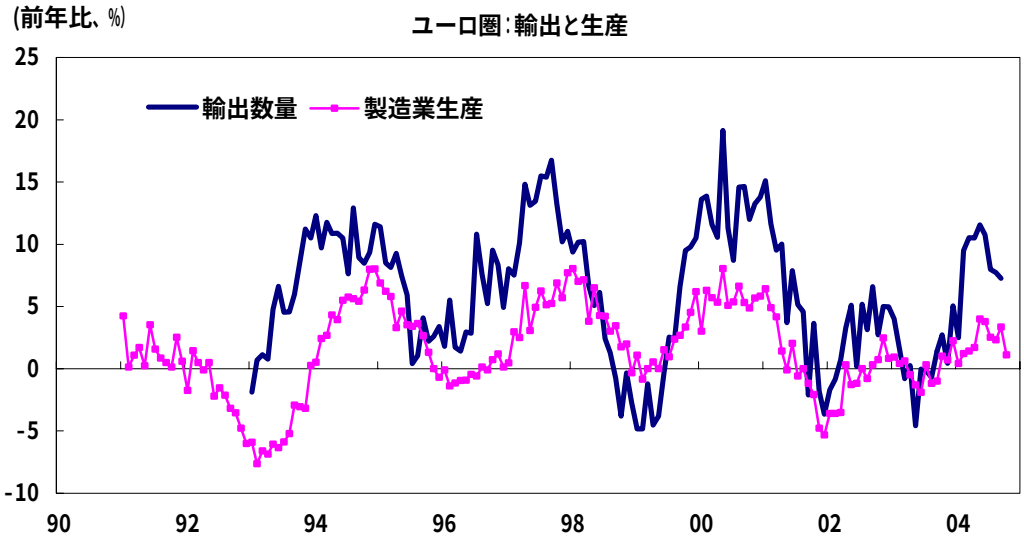
【ユーロ圏の主要経済指標】

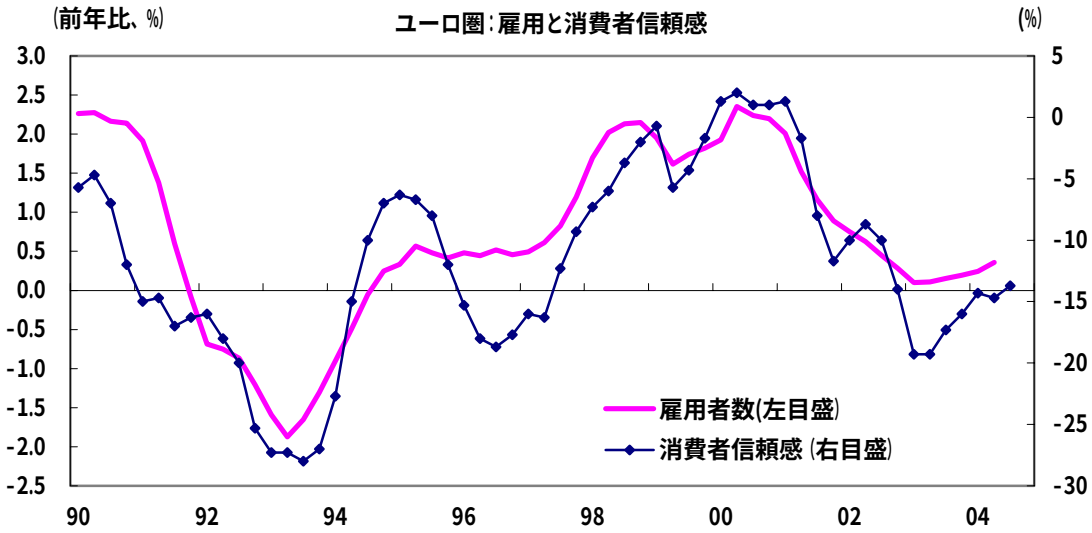
		経済指標	01	02	03	04	04/Ⅰ	04/Ⅱ	04/Ⅲ	04/Ⅳ	04/10	04/11	04/12
景気	全般	実質ＧＤＰ* （上段：前期比）					0.6	0.5	0.3				
		（下段：前年比）	1.6	0.9	0.5		1.3	2.1	1.8				
		OECD景気先行指数	-2.4	2.9	1.9		5.5	5.9	4.2		2.9		
		景況指数（95=100）*	100.8	94.4	93.5		98.8	100.0	100.6		101.3	100.8	
	需要サイド 消費	消費者信頼感指数＊	-5	-11	-18		-14	-15	-14		-14	-13	
		小売売上数量* （上段：指数）	101.6	101.7	102.0		102.4	102.2	102.0		102.4		
		（下段：前年比）	1.7	0.1	0.3		0.4	0.0	0.0		-0.2		
		新車登録	-0.8	-4.5	-1.5		2.1	4.7	-2.5		-3.1	10.6	
	投資	建設業	―	―	0.2		1.0	-0.9	-1.2				
		建設業信頼感指数＊	-11	-19	-20		-19	-16	-16		-14	-13	
	輸出	域外輸出金額	7.0	2.0	-2.4		4.9	11.9	8.5		2.6		
		域外輸出数量*	5.1	2.8	0.7		7.5	10.9	7.7				
	供給サイド 生産	企業景況＊	-9	-11	-10		-7	-5	-4		-3	-3	
		鉱工業生産* （上段：指数）	100.5	99.9	100.3		101.3	102.3	102.5		102.3		
		（下段：前年比）	0.4	-0.6	0.3		1.0	2.9	2.5		1.0		
		製造業生産*	0.3	-0.8	0.0		1.0	3.1	2.7		1.1		
		設備稼働率(%)*	83.5	81.4	81.1	81.2	80.7	80.7	81.6	81.7			
	雇用	雇用者数	1.4	0.5	0.1		0.2	0.4					
		失業率(%)*	8.0	8.4	8.9		8.9	8.9	8.9		8.9		
	輸入	域外輸入金額	0.9	-3.0	0.4		0.1	8.8	13.8		6.9		
		域外輸入数量*	-1.0	-0.4	3.2		5.0	4.3	7.3				
国際収支		経常収支（10億euro）	-10.9	57.7	21.8		13.7	6.8	5.8				
		貿易収支（10億euro）	48	99	69		19	23	18		5		
物価		生産者物価	2.0	-0.1	1.4		0.2	2.0	3.1		4.0		
		消費者物価	2.4	2.3	2.1		1.7	2.3	2.3		2.4	2.3	
		消費者物価（コア）	1.7	2.4	1.8		1.8	1.9	1.9		1.9	1.8	
金融		ﾏﾈｰｻﾌﾟﾗｲ(M3)	5.5	7.3	8.1		6.4	5.2	5.6		6.1		
		3ヶ月物銀行間金利(%)	4.26	3.32	2.33		2.06	2.08	2.12		2.15	2.17	
		10年物国債金利(%)	5.03	4.92	4.16		4.15	4.36	4.21		3.98	3.87	
		株価（DJ Euro Stoxx）	336.3	260.0	213.3		251.6	249.8	244.0		252.1	260.0	
		為替相場（ドル/ユーロ）	0.90	0.95	1.13		1.25	1.20	1.22		1.25	1.30	
		名目実効相場	2.7	4.9	12.4		7.8	1.8	3.5		3.2	4.7	
		短期レポ金利（期末値）	3.25	2.75	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00

（出所）Datastream （注）原則として数字は前年同期比;%、*は季調値。

＜グラフで見るユーロ圏景気＞







(出所) Datastream

＜ユーロ圏主要国の経済指標＞

【ドイツの主要経済指標】

	01	02	03	04	04/Ⅰ	04/Ⅱ	04/Ⅲ	04/Ⅳ	04/10	04/11	04/12
実質ＧＤＰ成長率*（上段：前期比）					0.4	0.4	0.1				
（下段：前年比）	1.0	0.1	-0.1		0.8	1.4	1.3				
OECD景気先行指数	-2.7	3.9	2.6		6.6	7.6	5.6		3.4		
IFO企業景況指数	92.1	89.4	91.7	95.7	96.4	95.7	95.4	95.2	95.3	94.1	96.2
鉱工業生産*（上段：前期比）	100.1	99.1	99.5		0.3	1.6	0.1		0.6		
（除く建設）（下段：前年比）	0.2	-1.0	0.4		3.2	5.1	4.2		-0.4		
製造業受注*	-1.6	-0.1	0.8		3.0	7.8	6.8		5.2		
国内*	-2.3	-3.1	0.0		2.4	4.4	4.2		3.1		
海外*	-0.9	3.7	1.6		3.7	11.7	9.7		7.8		
設備稼働率(%)*	84.6	83.4	82.7		83.9	84.0	84.1				
建設*	-7.5	-3.8	-4.3		-2.7	-9.5	-9.9		-9.3		
建設業信頼感指数*	-42	-53	-53		-50	-48	-52		-54	-53	
消費者信頼感指数*	-3	-11	-19		-15	-17	-17		-18	-17	
小売売上数量（除く自動車）*	1.1	-2.2	-0.3		-1.8	-3.1	-2.0		-1.1		
新車登録	-1.1	-2.7	-0.5		-2.7	-0.1	-4.8		4.5	11.1	
賃金（月給、全産業）	2.0	2.7	2.2		1.8	1.6	1.1				
就業者数*	0.5	-0.6	-1.0		-0.2	0.2	0.3				
失業者数（千人）*	3861	4075	4383		4301	4371	4417		4457	4464	
失業率(%)*	9.6	10.2	10.5		10.4	10.5	10.7		10.7	10.8	
旧西(%)*	7.4	8.1	8.4		8.4	8.4	8.6		8.6	8.6	
旧東(%)*	17.5	18.2	18.3		18.2	18.5	18.7		18.7	18.8	
輸出金額*	7.4	2.1	2.0		7.1	13.0	8.3		13.1		
輸入金額*	1.3	-4.5	3.0		1.0	6.4	12.1		11.7		
生産者物価（鉱工業）	3.0	-0.6	1.7		0.2	1.3	2.2		3.3	2.8	
消費者物価	2.0	1.4	1.1		1.0	1.7	1.8		2.0	1.8	
10年物国債金利（%）	4.81	4.79	4.09		4.08	4.24	4.13		3.92	3.80	
DAX株価指数	5614.6	4176.7	3198.3		4016.5	3964.9	3851.0		3963.6	4108.7	

【フランスの主要経済指標】

	01	02	03	04	04/Ⅰ	04/Ⅱ	04/Ⅲ	04/Ⅳ	04/10	04/11	04/12
実質ＧＤＰ成長率*（上段：前期比）					0.7	0.6	0.1				
（下段：前年比）	2.1	1.1	0.6		1.8	2.9	2.0				
OECD景気先行指数	-3.0	2.1	1.0		6.8	7.5	5.9		4.6		
INSEE企業生産見通しDI*(%)	-24	-24	-29		9	-6	8		24	6	
企業収益（10億euro、年率）*	500	518	526		543	555	553				
鉱工業生産*（上段：指数）	101.2	99.6	99.6		100.6	101.4	101.3		102.0		
（除く建設）（下段：前年比）	1.1	-1.6	0.0		0.6	2.7	1.9		1.4		
製造業稼働率(%)	87.4	85.3	84.8	82.3	81.4	81.8	83.2	82.6			
建設*	3.5	1.4	0.4		3.3	2.6	0.8				
建設業信頼感指数*	16	0	-9		-1	4	3		5	8	
消費者信頼感指数*	-11	-16	-25		-15	-17	-14		-11	-13	
小売売上数量*（上段：指数）	102.5	104.3	105.1		106.6	107.1	107.3				
（下段：前年比）	2.6	1.8	0.8		2.0	1.9	1.7				
新車登録	5.7	-4.9	-6.3		-2.8	2.5	-3.9		-8.2	17.9	
家計工業品消費（除く自動車）*	3.8	0.9	0.9		2.7	5.5	3.2		1.9	6.5	
就業者数*	1.6	0.2	-0.5		-0.3	0.0	0.2				
失業者数（千人）*	2371	2524	2707		2674	2685	2690		2685		
失業率(%)*	8.8	9.3	9.9		9.8	9.9	9.9		9.9		
輸出金額*	1.9	-0.5	-2.5		1.9	6.7	7.1		7.4		
輸入金額*	0.4	-2.3	-1.1		-0.4	8.2	13.1		14.9		
生産者物価（鉱工業中間財）	1.2	-0.2	0.9		0.2	1.9	2.8		3.5		
消費者物価	1.7	1.9	2.1		1.9	2.4	2.2		2.1	2.0	
10年物国債金利(%)	4.96	4.88	4.13		4.10	4.31	4.17		3.93	3.82	
CAC40株価指数	5019.3	3789.1	3119.1		3656.0	3696.2	3625.7		3700.5	3787.8	

（出所）Datastream （注）原則として数字は前年同期比;%、*は季調値。

２．英国

・堅調に推移してきた英国景気に減速の兆しがみえてきた。2004年7～9月期の実質ＧＤＰ成長率（改定値）は前期比0.5%、前年同期比3.1%と何れも前期から大きく減速した。産業別に見ると、石油会社が設備保守のため生産をストップした影響が最も大きな成長率引き下げ要因となっている。需要項目別には、これまでけん引役を務めてきた個人消費の鈍化と5四半期連続で前期比プラスを維持してきた固定資本投資が前期比マイナスに転じたことが成長率低下の要因となっている。2003年11月以降のＢＯＥの相次ぐ利上げに起因すると見られる住宅ブームの沈静化傾向がこの一因と考えられる。

・また、景気の減速傾向に加え、ポンド相場の行方に対する不安もあり、企業の先行き見通しは大幅に悪化した。

・一方、11月の住宅価格上昇率は前年同月比14.4%と一段と上昇テンポの鈍化傾向が明らかになってきた。12月8、9日に開かれたＢＯＥの金融政策委員会は海外景気減速のリスクが高まったことなどを指摘し、政策金利の据置き（4.75%）を決めた。

【英国の主要経済指標】

		経済指標	01	02	03	04	04/Ⅰ	04/Ⅱ	04/Ⅲ	04/Ⅳ	04/10	04/11	04/12
景気	全般	実質ＧＤＰ（上段：前期比）					0.7	0.9	0.5				
		（下段：前年比）	2.3	1.8	2.2		3.0	3.5	3.1				
		CBI企業先行き見通し(%)	-27	-6	-17	7	17	12	7	-10			
		OECD景気先行指数	-0.7	1.6	-0.7		4.4	3.6	1.5		1.6		
		企業収益（税引き前）	0.0	9.4	9.4		1.1	9.1	3.3				
	需要サイド 消費	消費者信頼感指数＊	-5	-4	-6		-2	-4	-4		-2	0	
		小売売上＊	6.1	6.8	2.8		6.2	6.7	6.6		5.6	6.1	
		新車登録	10.7	4.3	0.6		6.0	-2.2	-3.0		-5.9	1.8	
	投資	住宅着工	1.3	0.7	7.0		8.4						
		新規建設工事受注＊	-0.8	3.2	-4.6		4.8	11.4	1.3		19.0		
	輸出	輸出 *	1.1	-1.9	1.1		-6.7	-0.2	3.9		2.4		
		CBI輸出受注評価	-34	-34	-33	-13	-19	-6	-11	-16	-11	-21	-15
	供給サイド 生産	製造業生産＊	-1.3	-3.1	0.4		1.2	2.3	0.7		-0.5		
		CBI能力以下操業割合	62	68	70	60	66	65	54	54			
		CBI最終品在庫水準評価	17	16	17	11	9	10	13	10	13	8	9
	雇用	就業者数＊	1.0	0.6	1.1		1.2	0.8	0.3				
		失業率(%)*	3.2	3.1	3.0		2.9	2.8	2.7		2.7	2.7	
	輸入	輸入 *	4.4	1.1	1.2		-0.3	5.8	7.2		7.0		
国際収支		経常収支（10億£）	-22	-18	-19		-6	-6	-9				
		貿易収支（10億£）*	-41	-47	-47		-14	-15	-15		-5		
物価		製造業生産者物価	-0.3	0.1	1.5		1.5	2.3	2.9		3.5	3.5	
		消費者物価	1.2	1.3	1.3		1.3	1.4	1.2		1.2	1.5	
		ハリファクス住宅価格指数	8.1	20.8	19.2		18.5	21.6	20.3		16.2	14.4	
		単位労働コスト＊	4.0	2.9	3.0		3.6	2.5					
		平均実収	4.4	3.6	3.3		5.3	4.1	3.7		4.2		
金融		ﾏﾈｰｻﾌﾟﾗｲ(M4)	6.6	7.0	7.2		8.1	8.2	9.4		10.0	8.7	
		3ヶ月物銀行間金利(%)	4.97	4.01	3.69		4.13	4.52	4.87		4.86	4.83	
		10年物国債金利(%)	4.91	4.86	4.47		4.76	5.07	4.98		4.76	4.68	
		株価（FT100）	5561	4597	4051		4454	4482	4437		4645	4744	
		為替相場（ドル/£）	1.44	1.50	1.63		1.84	1.81	1.82		1.81	1.86	
		実効相場（90=100）	105.8	106.0	100.2		104.1	105.2	104.8		102.2	101.7	
		実効相場(前年比)	-1.6	0.2	-5.5		1.7	6.1	5.6		2.4	1.3	

（出所）Datastream （注）原則として数字は前年同期比;%、*は季調値。